

科目名	傾聴活動論					単位	2.0
担当教員	目黒 達哉						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	3,4	授業番号	3120

●授業のテーマ
傾聴に学ぶ

●到達目標

同朋大学認定「傾聴士」(一種)(二種)の資格取得に向けて、その理論と実践の在り方について理解する。

●学習内容(授業概要)

傾聴士とは、対象者の話に耳を傾けて、集中して聴き、対象者を受け容れ、対象者の話が促進されるように、また対象者の気持ちの整理がつくように援助する。さらには、対応できないような問題を専門家につなぐ役割もする。この講義では、このように傾聴士とは何かについて理解でき、役割も知る。

また、傾聴士はもともと「傾聴ボランティア」にその起源があり、「ボランティアとは何か」もしっかりと理解すると共に、これまで傾聴ボランティアがどのような社会貢献活動をしてきたのかを知る。

さらには、この講義によって、近年、施設高齢者や独居高齢者が増加傾向にある中で高齢者の認知症や高齢者のうつ病・自殺の問題が生じていることを知る。このような高齢者やその家族の話に耳を傾けることがこれらの問題の予防・対策や援助になる。児童虐待に関連して、子育てにおける若い母親の悩みに耳を傾けることも必要である。このような社会背景の中で、今後ますます傾聴士が社会的要請が高まることを理解できる。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション
2. 動機は何か～なぜ傾聴士を取得したいのか～
3. 傾聴ボランティアとは
4. ボランティアとは
5. ボランティア実践活動の基本
6. ボランティア実践において重要なこと
7. ボランティア実践の過程
8. 傾聴とは
9. 積極的傾聴とは
10. 傾聴することの難しさ
11. 傾聴の態度
12. コミュニケーションとは
13. 傾聴ボランティア体験(高齢者施設にて)
14. 傾聴ボランティア実践者の特別講義
15. 傾聴士とは

●準備学習・事後学習の内容

ボランティアや傾聴ボランティアに関する資料、新聞記事などを読むように心がけ、授業後は授業の内容の要点まとめる。

●成績評価方法・基準

レポート（50%）、傾聴ボランティア活動報告書（50%）により評価する。

●テキスト（必携）

《No.1.》書籍名：こころのうた、著者名：目黒達哉、出版社：（株）みらい、販売先：研究室

●参考文献／その他

講義時に紹介する。

●履修上の注意

受講学生の皆さんの積極的な参加を望む。